

北見武道通信

ニュースレター【武道館情報】 武道館貸出可能物品です！！

日頃より、北見市武道館をご利用頂き誠に有難うございます。本日は、紙面をお借りして武道館に新たに加わった貸出可能物品をナンバー順にお知らせ致します。一部、利用方法を制限させていただいているモノもありますので重ねてお知らせいたします。①:パイプ椅子が大会・講習会時の審判席・講師席などの利用専用として24脚を導入しました。②・③・④・⑤・⑥:カッター・定規・画鋏・セロテープ2台・中小クリップ・マジックなどの筆記用具を少量ですがご用意してあります。会場設営時などで緊急時にご利用ください。⑦:ピンマイクです。2台を新たに導入致しました。⑧・⑨:研修室プロジェクター利用時に接続する端子が合致しない場合応急措置として対応できるようアダプタ等を用意しました。⑩:ストップウォッチが4個、ヘルスマーターが2台導入しましたが、こ



ちらも大会・講習会・昇級・昇段審査などにご利用下さい。⑪:モニターをそれぞれ1台ずつ計2台寄附して頂きました。通常練習で姿勢確認などでもご利用いただけます。⑫・⑬:CD ラジカセ・レーザーポインターはいつでもご利用頂けます。これらの他に既存のマイクなどもございますが、数に限りがありますので、なるべく利用申請時に受付まで申し出下さい。今後とも北見市武道館を宜しくお願い致します。



連載 「武道宝鑑」 第1弾 野間清治 <武道の徳>

<武道の徳>11-②

試みに竹刀を執って打振ってみる。手も足も、我が思うままに動かない。肩も腰も我が思う様にならない。我が手足、我が五体は、我が思いのまま自由自在に働かすことが出来るはずであると誰も思うであろうが、実際にやってみると、却々思う通りにはならない。ましてや玄妙神速、円滑無礙、思いのままに所作する事などは、どうしても、容易に出来るものではない。それなら我が四肢五体を我がものとして、自由自在に働かしめる為には何をすればよいのか、第一も練習、第二も練習、第三も亦練習である。又そこまで行かねば、我がものであって、実は我がものではないのだと気づくであろう。一刀を打下すにしても、右の手は右の手として、力を入れるべき箇所、入る可らだる箇所、力を入れるべき瞬間、力を抜くべき機会等、それらが些の凝滞なく、自然に行われねばならない。左手も同様、まことに自由に、まことに自然に活動せねばならない。右足は右足として最善を盡し、左足は左足として最善を行い、腰は腰として、肩は肩として、全身それぞれが最善をいたさなければならない。しかし・・・つづく